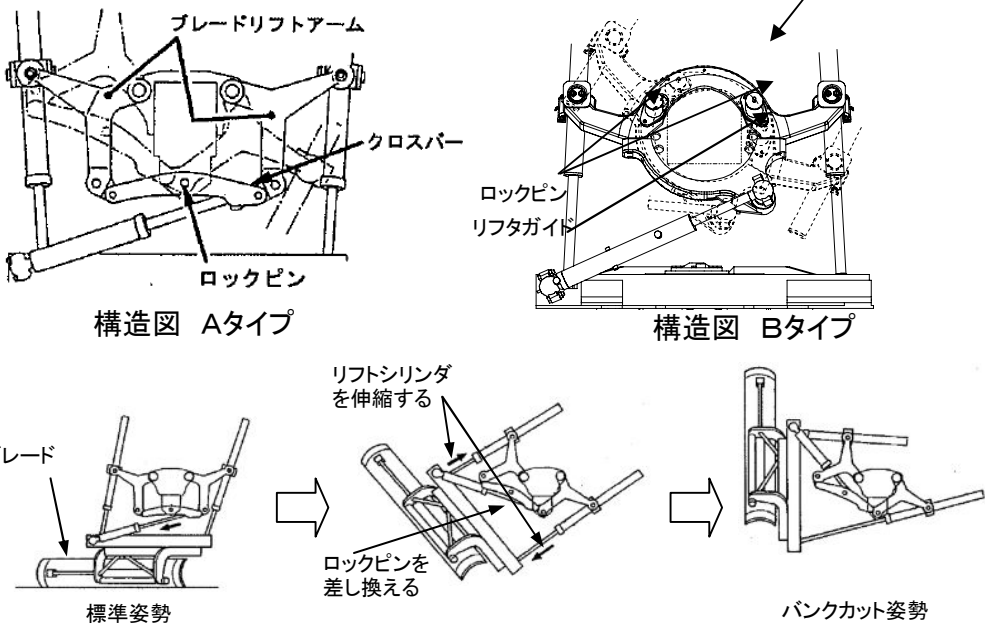


No・オプション名	25) バンクカット機構
使用機械	除雪グレーダ
使用工法	雪庇・雪堤処理
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)、雪堤
使用法	比較的高い雪堤の切り崩しや、雪堤上に発生した雪庇の処理を行う。雪堤処理作業は、ブレードを左側(中央分離帯の作業時は右側)いっぱい突き出すようにしてバンクカット姿勢を取り、前進しながら進める。作業高さは最大で4m以下で行う。
機能構造	<p>(機能構造)  地面より高い法面や地面より低い路肩部など路面以外の除雪、切削を行うため、ブレードを車体の外側に張り出し、垂直にまで調整する機構。  ロックピンをクロスバー/リフトガイドの標準位置から抜き、バンクカット姿勢用の位置に差し換えることによりリフトアーム/リフトブラケットを回転させバンクカット姿勢を取る。  ロックピンの抜き差しは、運転席からのスイッチ操作により行う。姿勢の変化は左右のリフトシリンダおよびドロワーシフトシリンダの伸縮操作により行う。リフトブラケット</p>  <p>構造図 Aタイプ</p> <p>構造図 Bタイプ</p> <p>標準姿勢</p> <p>バンクカット姿勢</p> <p>図 バンクカット機構</p>
特徴	比較的高い雪堤や雪庇を効率的に処理できる。マックレー装置など専用装置を装着する場合に比べ、ベース車両の機動性、汎用性を損なわない。

<p>留意事項</p>	<p>回送は標準姿勢で行う必要がある。  標準姿勢からバンクカット姿勢への移行時は作業機と車体本体が干渉しないように注意する。  他のアタッチメントとの組み合わせによっては車体との干渉によりバンクカット方向、角度が制限される事がある。</p>
<p>図・写真</p>	 <p>ブレード (バンクカット姿勢)</p> <p>写真 バンクカット機構を利用した法面除雪</p>
	 <p>写真 バンクカット作業中（正面から）</p>
<p>備考</p>	<p>装置の構造は車体製造メーカーにより異なるが操作方法は同じ。</p>